

4. 仕事と家庭生活，地域活動・市民活動の両立について

(11) 生活における優先度で現実がいちばん近いものについて

問11 あなたの生活における優先度について，あなたの**現実と理想**がいちばん近いものを，次の中から選んでください。**現実と理想**それぞれについて1～5のいずれかに○

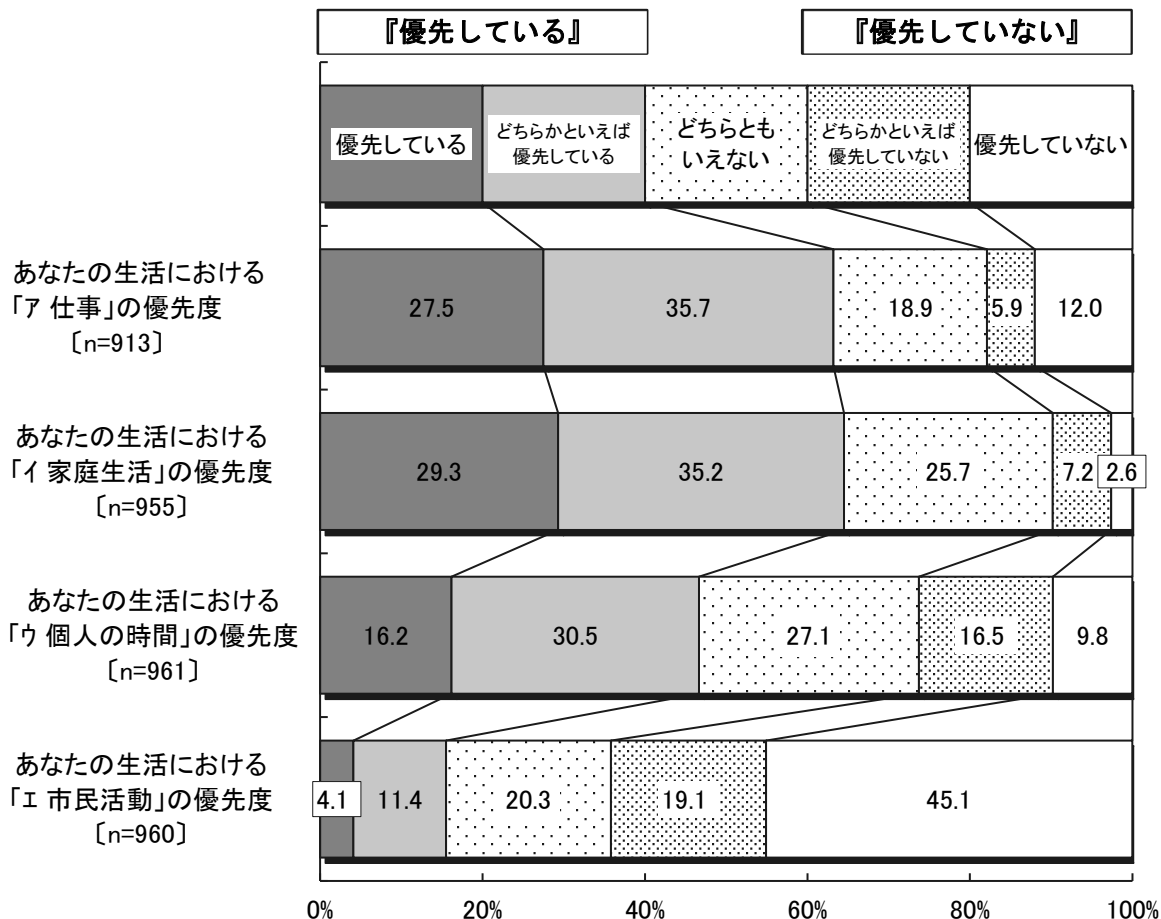
「仕事」「家庭生活」「個人の時間」
⇒『優先している』が『優先していない』より高い
「地域活動やボランティアなどの市民活動での活動時間」
⇒『優先していない』が『優先している』より高い

【生活における現実の優先度】

■優先度	『優先している』	『優先していない』
ア 「仕事」の優先度	63.2%	17.9%
イ 「家庭生活」の優先度	64.5%	9.8%
ウ 「個人の時間」の優先度	46.7%	26.3%
エ 「地域活動やボランティアなどの市民活動での活動時間」の優先度	15.5%	64.2%

※「優先している」と「どちらかといえば優先している」を合わせて『優先している』，
「優先していない」と「どちらかといえば優先していない」を合わせて『優先していない』とする。

11-1図 生活における<現実>の優先度〔全体〕



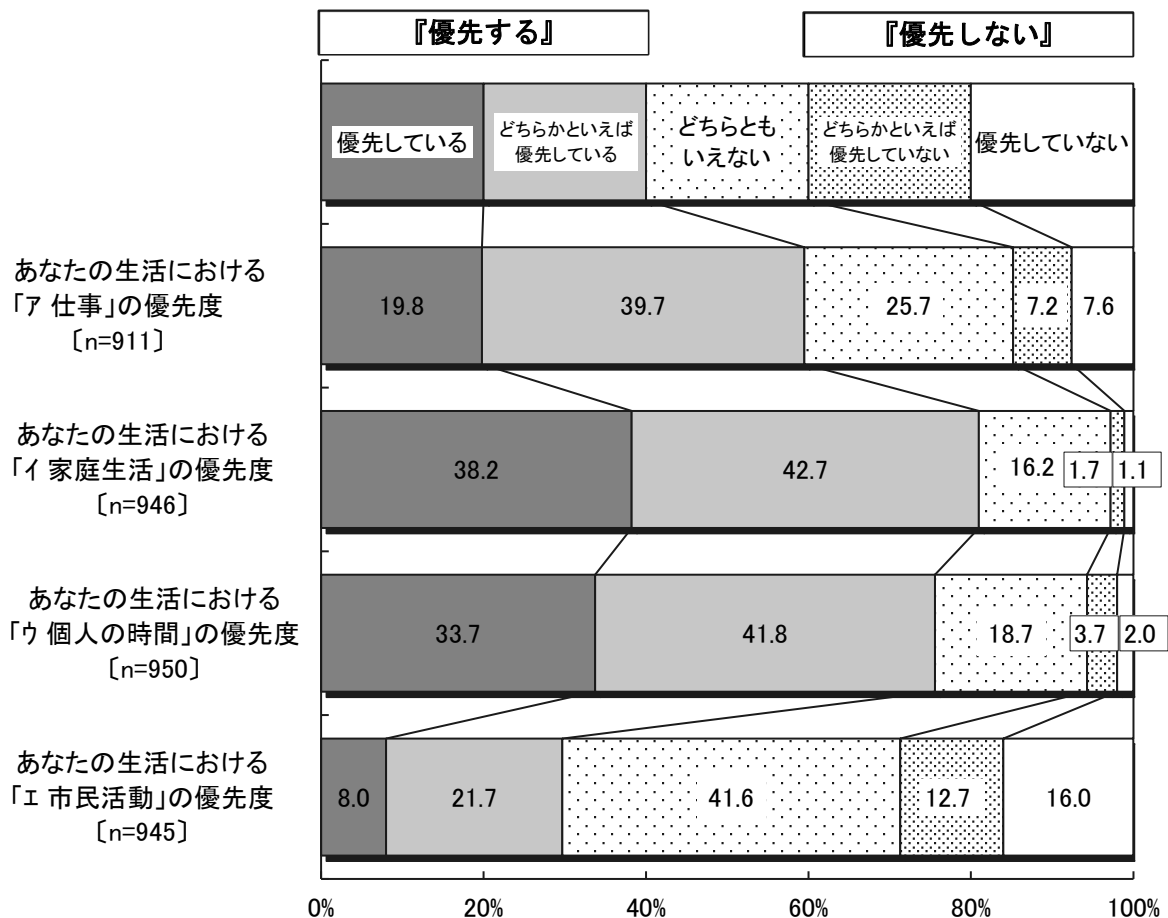
「仕事」「家庭生活」「個人の時間」
 ⇒『優先している』が『優先していない』より高い
 「地域活動やボランティアなどの市民活動での活動時間」
 ⇒「どちらともいえない」が最も高く、『優先している』と『優先していない』
 はともに3割弱で意見が分かれている。

【生活における理想の優先度】

■優先度	『優先する』	『優先しない』
ア 「仕事」の優先度	59.5%	14.8%
イ 「家庭生活」の優先度	80.9%	2.8%
ウ 「個人の時間」の優先度	75.5%	5.7%
エ 「地域活動やボランティアなどの 市民活動での活動時間」の優先度	29.7%	28.7%

※「優先している」と「どちらかといえば優先している」を合わせて『優先する』，
 「優先していない」と「どちらかといえば優先していない」を合わせて『優先しない』とする。

11-2図 生活における＜理想＞の優先度〔全体〕



ア あなたの生活における「仕事」の優先度（現実）

『優先している』は 63.2%

【全体】

『優先している』は63.2%、『優先していない』は17.9%と、『優先している』が45.3ポイント高い。

【性別】

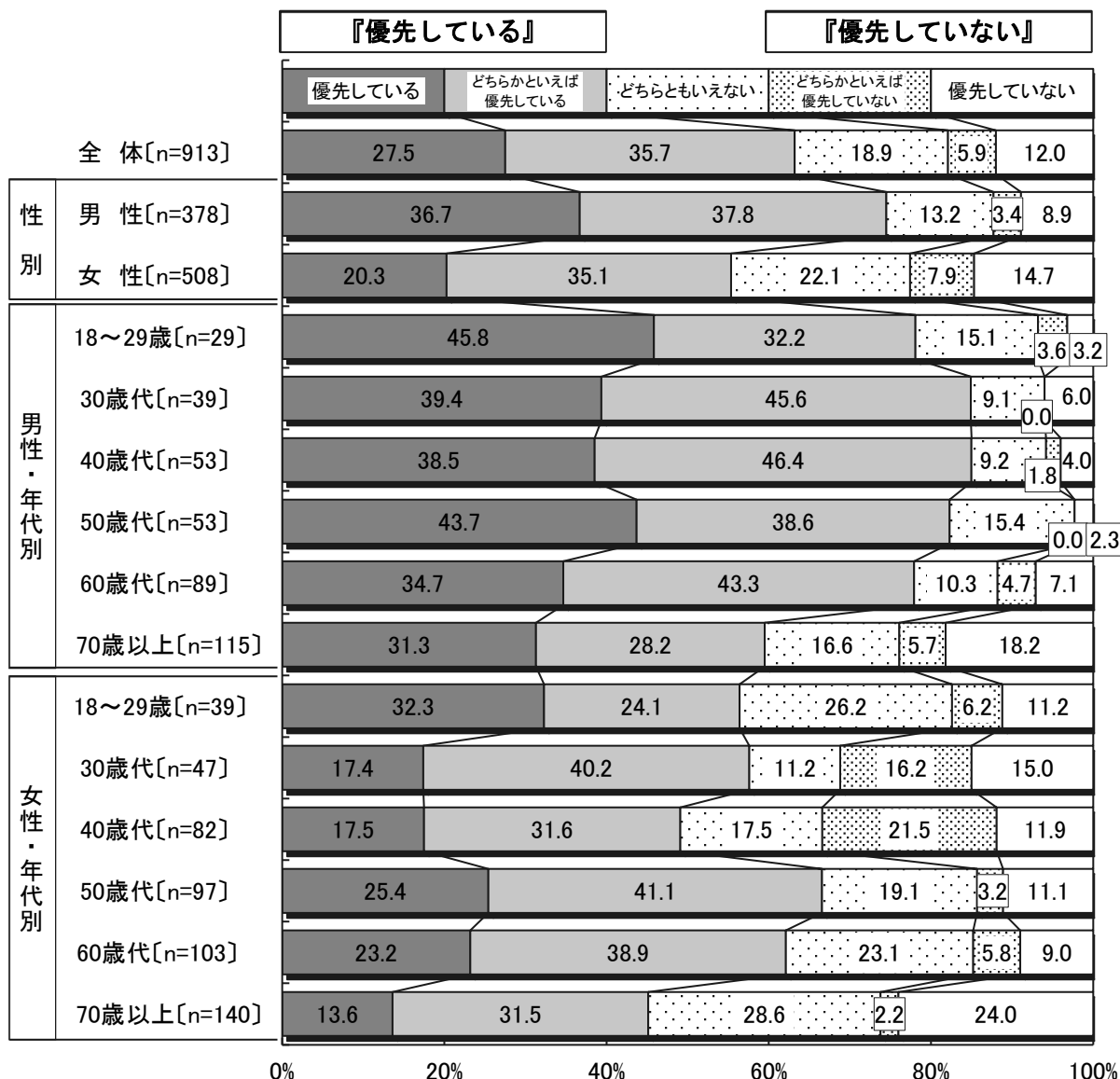
男性は、『優先している』が74.5%と、女性の55.4%より19.1ポイント高い。

【性年代別】

どの年代においても、男性の方が女性より『優先している』が高い。

男性70歳以上は、『優先している』が59.5%と他の男性の年代より低い。また、女性40歳代と女性70歳以上は、『優先している』がそれぞれ49.1%、45.1%と、他の年代より低い。

11-3図 生活における優先度で現実がいちばん近いものについて〔全体・性別・性年代別〕
（7 あなたの生活における「仕事」の優先度）



イ あなたの生活における「家庭生活」の優先度（現実）

『優先している』は 64.5%

【全体】

『優先している』は64.5%、『優先していない』は9.8%と、『優先している』が54.7ポイント高い。

【性別】

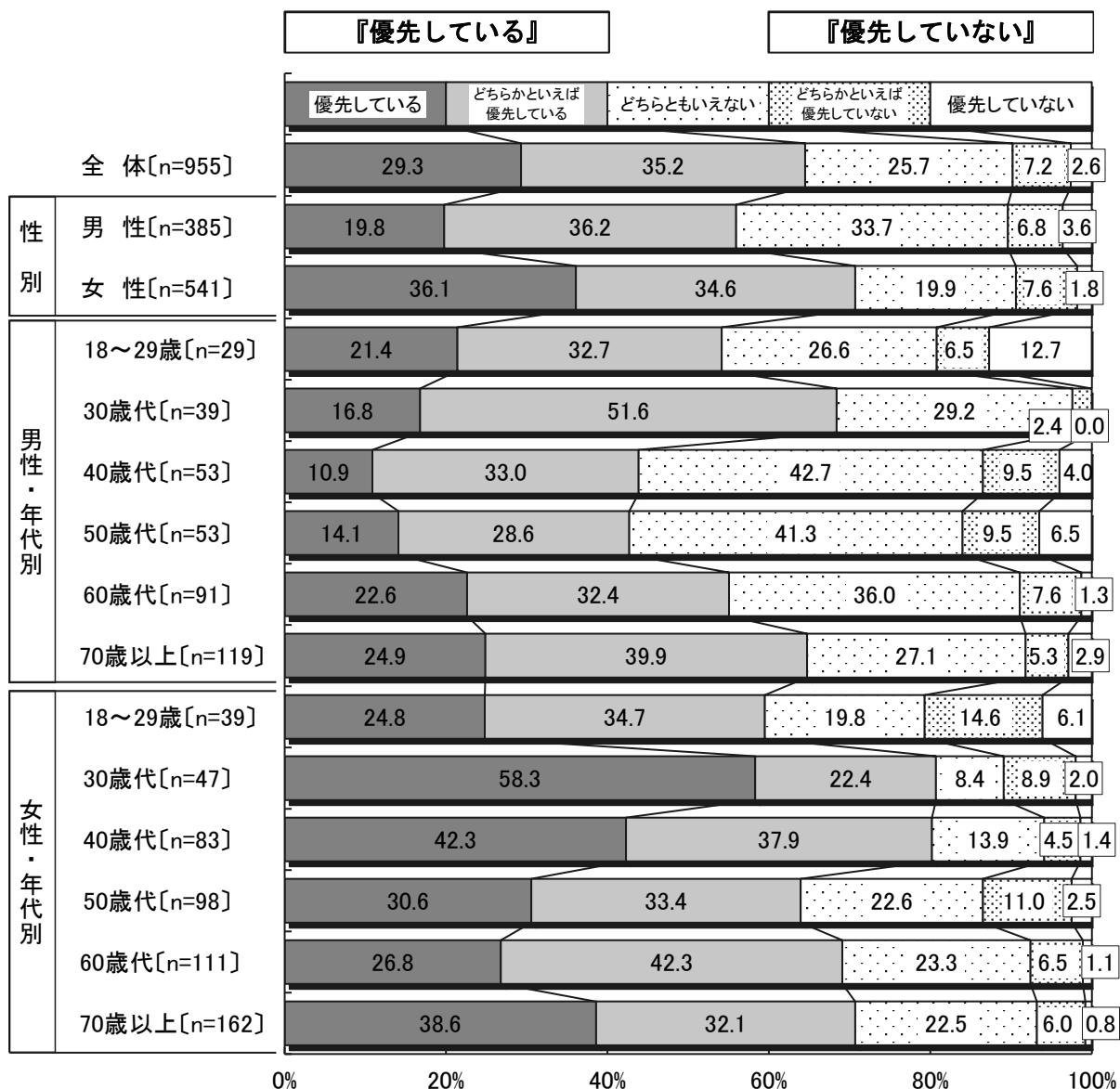
女性は、『優先している』が70.7%と、男性の56.0%より14.7ポイント高い。

男性は、『どちらともいえない』が33.7%と、女性の19.9%より13.8ポイント高い。

【性年代別】

男性40歳代と男性50歳代は、『優先している』がそれぞれ43.9%、42.7%と他の年代より低く、女性30歳代と女性40歳代は、『優先している』がそれぞれ80.7%、80.2%と他の年代より高い。

11-4図 生活における優先度で現実がいちばん近いものについて【全体・性別・性年代別】
（イ あなたの生活における「家庭生活」の優先度）



ウ あなたの生活における「個人の時間」の優先度（現実）

『優先している』は46.7%

【全体】

『優先している』は46.7%，『優先していない』は26.3%と，『優先している』が20.4ポイント高い。

【性別】

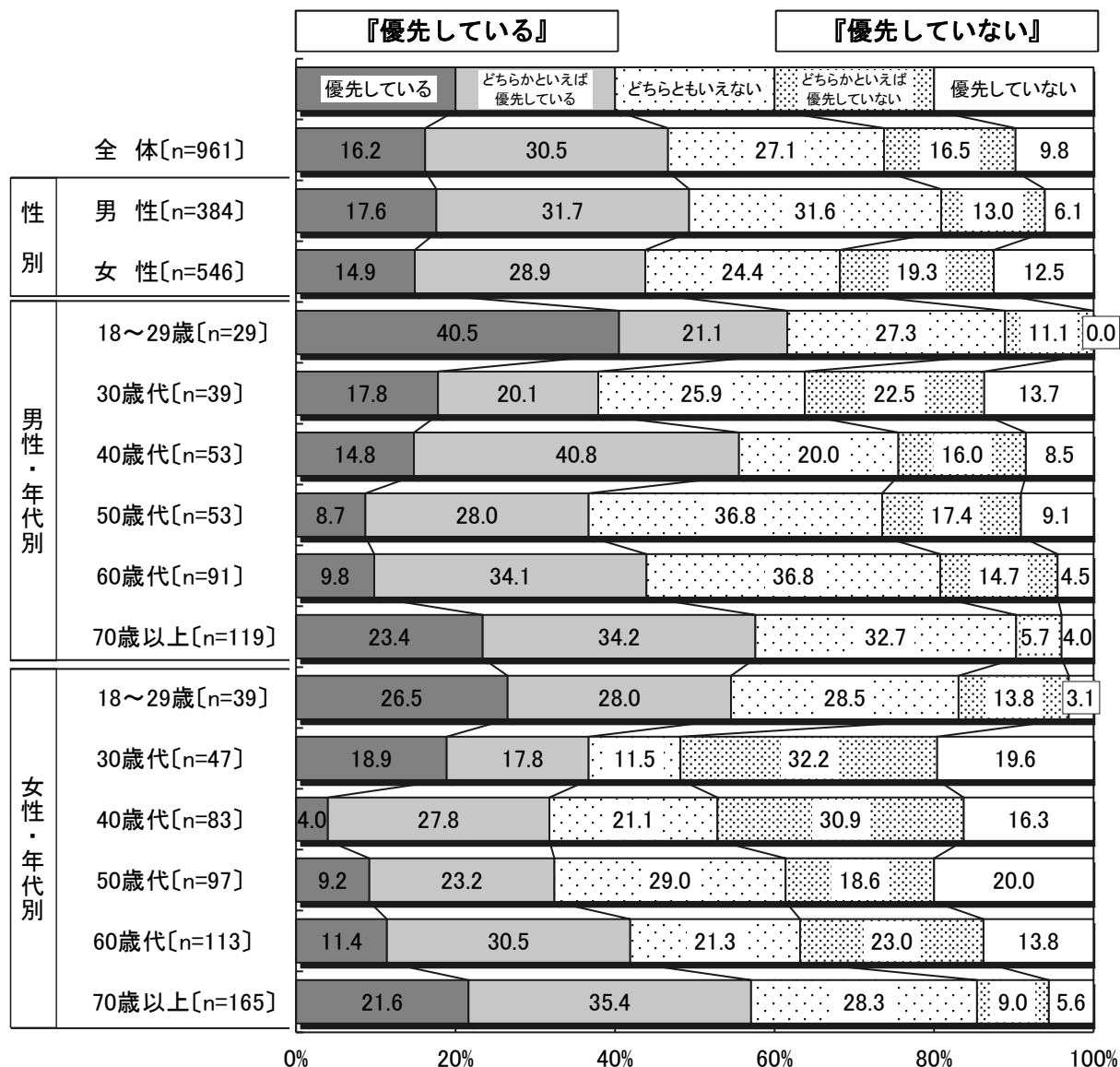
女性は，『優先していない』が31.8%と，男性の19.1%より12.7ポイント高い。

【性年代別】

男性18～29歳，男性40歳代，男性70歳以上，女性18～29歳，女性70歳以上は，『優先している』がそれぞれ5割以上と他の年代より高い。

女性30歳代と女性40歳代は，『優先していない』がそれぞれ51.8%，47.2%と，他の年代より高い。

11-5図 生活における優先度で現実がいちばん近いものについて〔全体・性別・性年代別〕
（ウ あなたの生活における「個人の時間」の優先度）



エ あなたの生活における「地域活動やボランティアなどの市民活動での活動時間」の優先度（現実）

『優先していない』は64.2%で『優先している』は15.5%

【全体】

『優先している』は15.5%、『優先していない』は64.2%と『優先していない』が48.7ポイント高い。

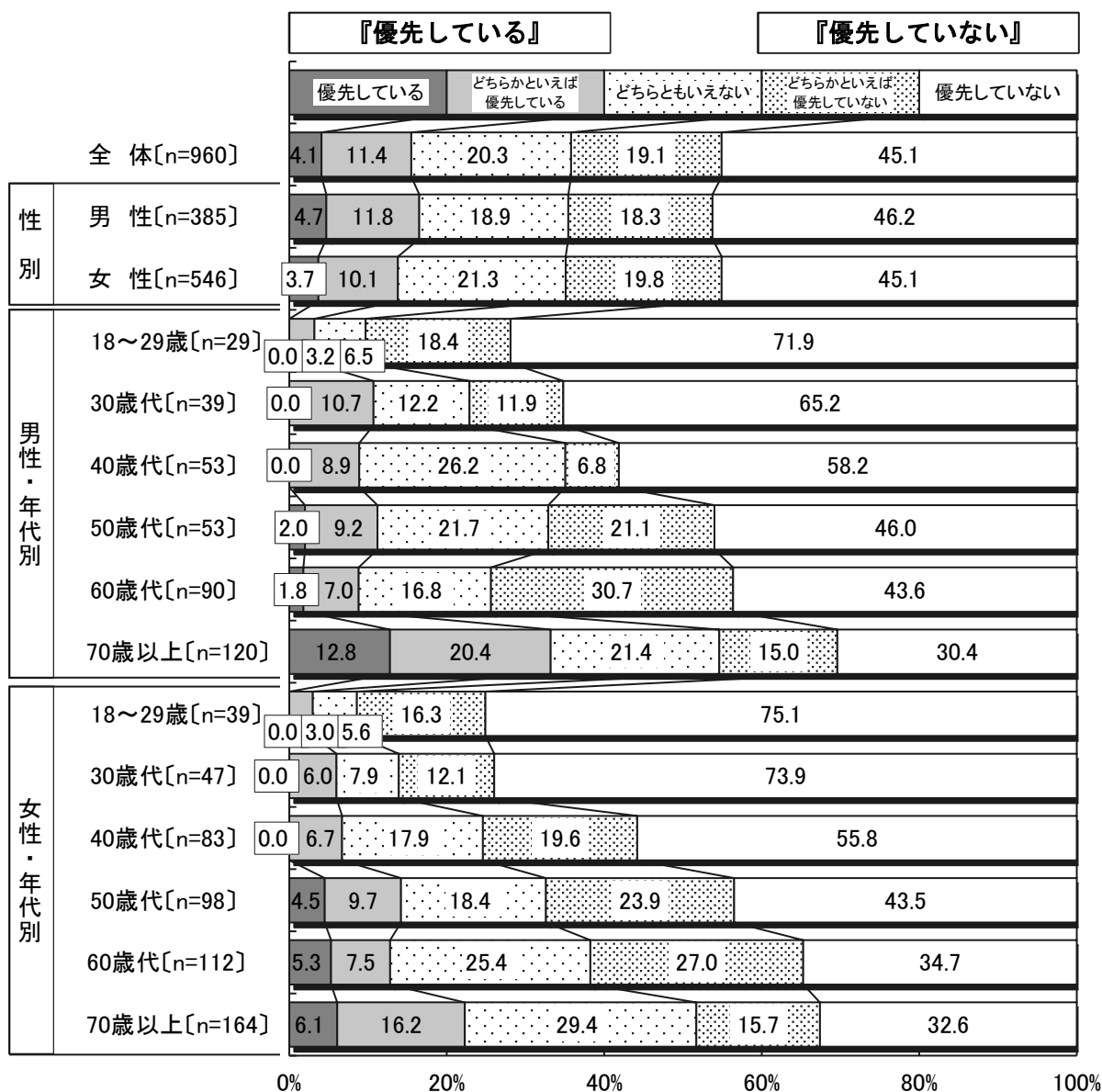
【性別】

特に大きな差異はない。

【性年代別】

男性70歳以上は、『優先している』が33.2%と他の年代より高い。女性18～29歳と男性18～29歳は、『優先していない』がそれぞれ91.4%、90.3%と高く、若年層ほど高くなっている。

11-6図 生活における優先度で現実がいちばん近いものについて〔全体・性別・性年代別〕
 (エ あなたの生活における「地域活動やボランティアなどの市民活動での活動時間」の優先度)



ア あなたの生活における「仕事」の優先度（理想）

『優先する』は 59.5%

【全体】

『優先する』は59.5%、『優先しない』は14.8%と、『優先する』が44.7ポイント高い。

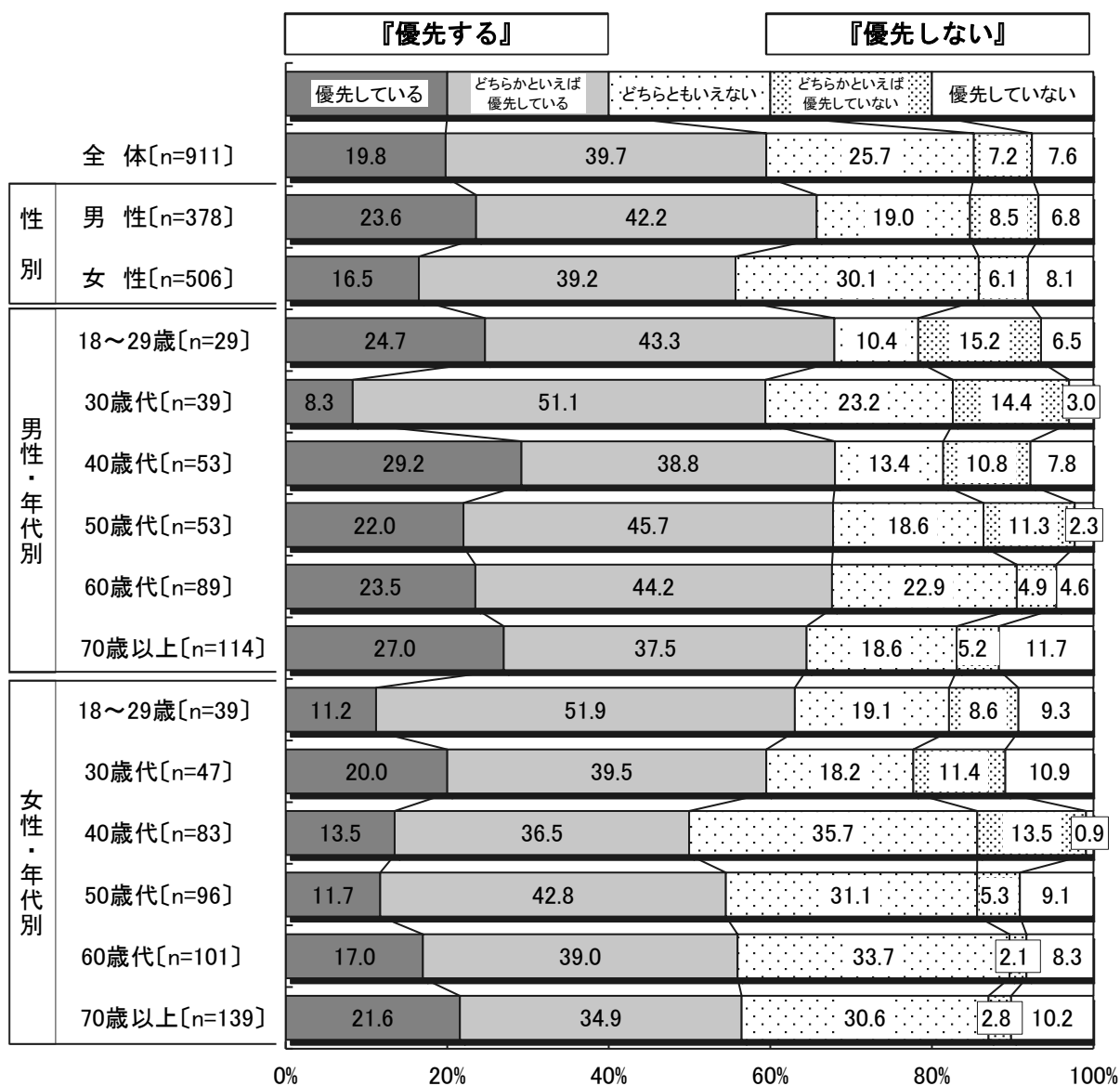
【性別】

男性は、『優先する』が65.8%と、女性の55.7%より10.1ポイント高い。

【性年代別】

40歳代、50歳代、60歳代の各年代は、『優先する』の男性の値が女性より10ポイント以上高い。

11-7図 生活における優先度で理想にいちばん近いものについて〔全体・性別・性年代別〕
（ア あなたの生活における「仕事」の優先度）



イ あなたの生活における「家庭生活」の優先度（理想）

『優先する』は 80.9%

【全体】

『優先する』は80.9%、『優先しない』は2.8%と、『優先しない』が78.1ポイント高い。

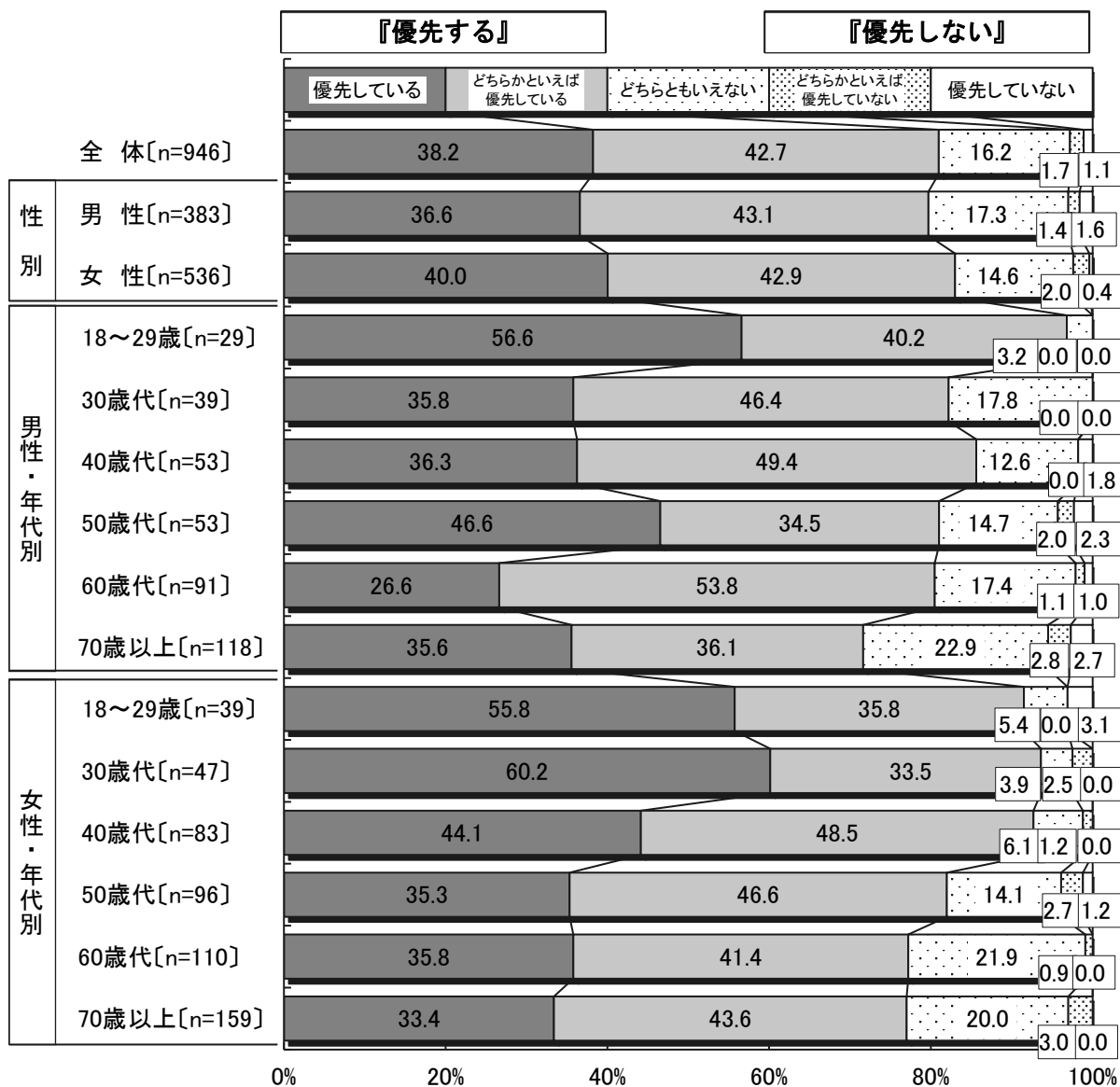
【性別】

特に大きな差異はない。

【性年代別】

男性18～29歳，女性18～29歳，女性30歳代，女性40歳代は，『優先する』がそれぞれ9割以上と他の年代より高い。

11-8図 生活における優先度で理想にいちばん近いものについて〔全体・性別・性年代別〕
（イ あなたの生活における「家庭生活」の優先度）



ウ あなたの生活における「個人の時間」の優先度（理想）

『優先する』は75.5%

【全体】

『優先する』は75.5%、『優先しない』は5.7%と、『優先する』が69.8ポイント高い。

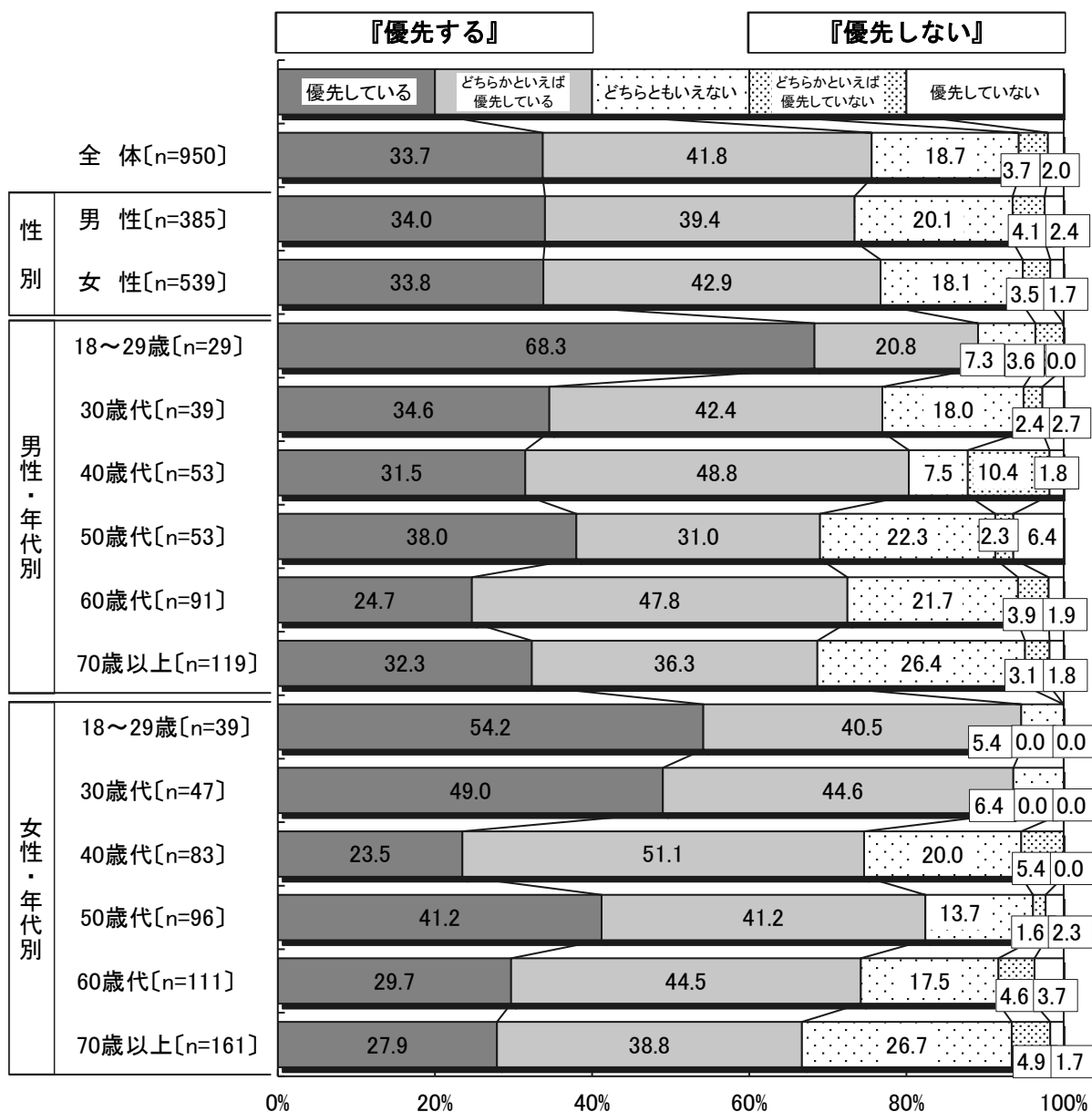
【性別】

特に大きな差異はない。

【性年代別】

女性18～29歳，女性30歳代，男性18～29歳は、『優先する』がそれぞれ94.7%，93.6%，89.1%と他の年代より高い。

11-9図 生活における優先度で理想にいちばん近いものについて〔全体・性別・性年代別〕
（ウ あなたの生活における「個人の時間」の優先度）



エ あなたの生活における「地域活動やボランティアなどの市民活動での活動時間」の優先度（理想）

『優先する』は29.7% 「どちらともいえない」が41.6%

【全体】

「どちらともいえない」が41.6%と最も高く、『優先する』は29.7%、『優先しない』は28.7%と意見が分かれている。

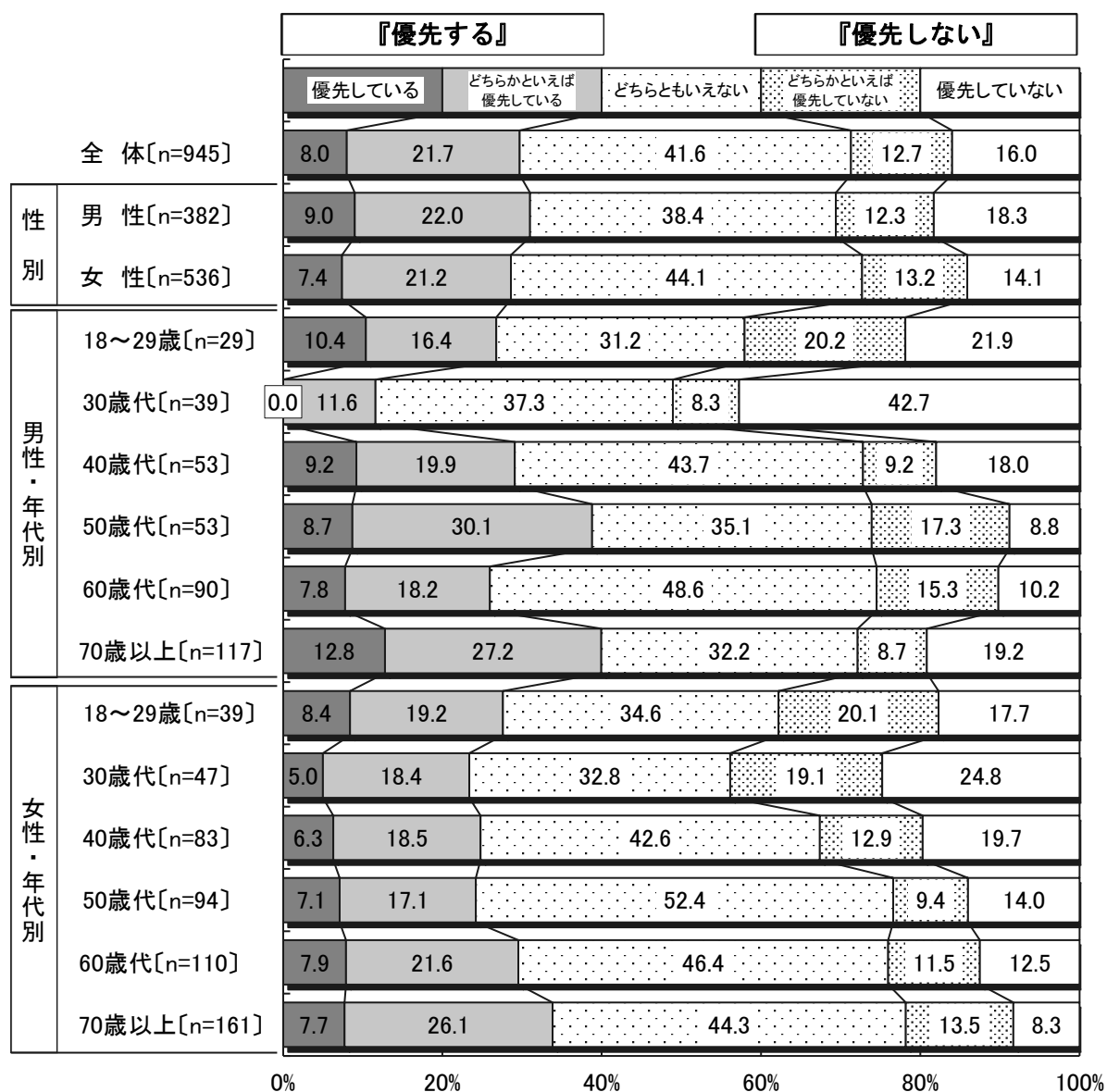
【性別】

特に大きな差異はない。

【性年代別】

男性50歳代、男性70歳は、『優先する』が最も高く、男性18～29歳、男性30歳代、女性18～29歳、女性30歳代では『優先しない』が最も高い。その他の年代では『どちらともいえない』が4割以上と最も高くなっている。

11-10図 生活における優先度で理想にいちばん近いものについて〔全体・性別・性年代別〕
 (エ あなたの生活における「地域活動やボランティアなどの市民活動での活動時間」の優先度)



■生活における優先度で現実と理想の比較について

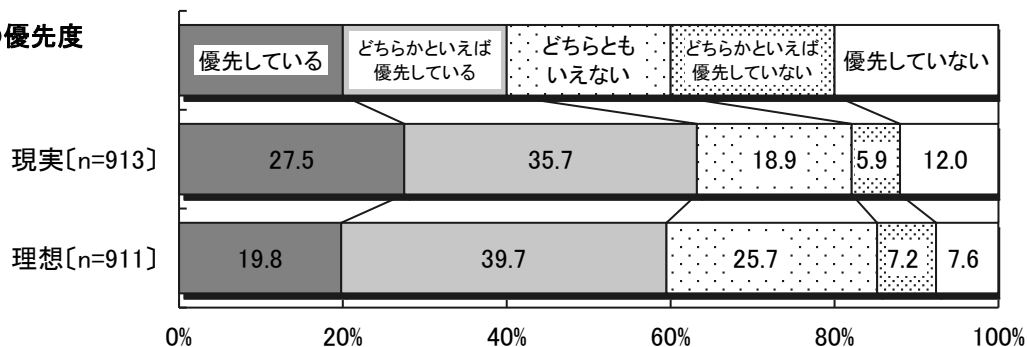
【全体】

優先度で現実と理想の差が最も大きいのは、『個人の時間』で、「理想」が75.5%に対し、「現実」は46.7%で28.8ポイントの差がある。

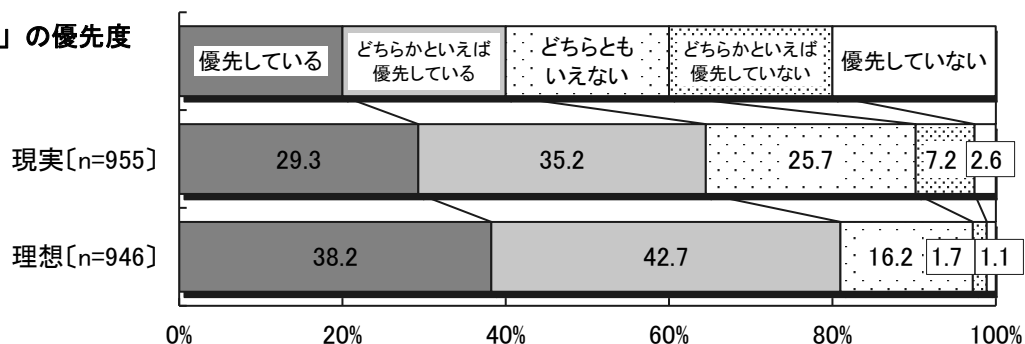
次いで差が大きいのは『家庭生活』で、「理想」が80.9%に対し、「現実」は64.5%で16.4ポイントの差がある。『市民活動での活動時間』についても「理想」が29.7%に対し、「現実」は15.5%で14.2ポイントの差がある。

11-11図 生活における優先順位で現実と理想の比較について〔全体〕

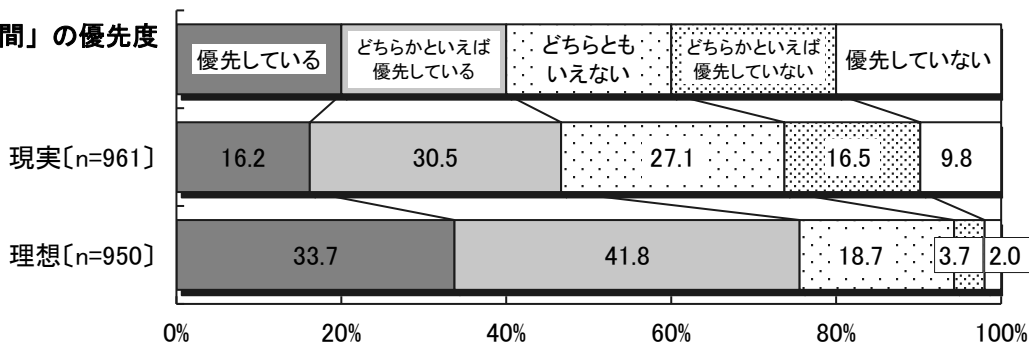
ア「仕事」の優先度



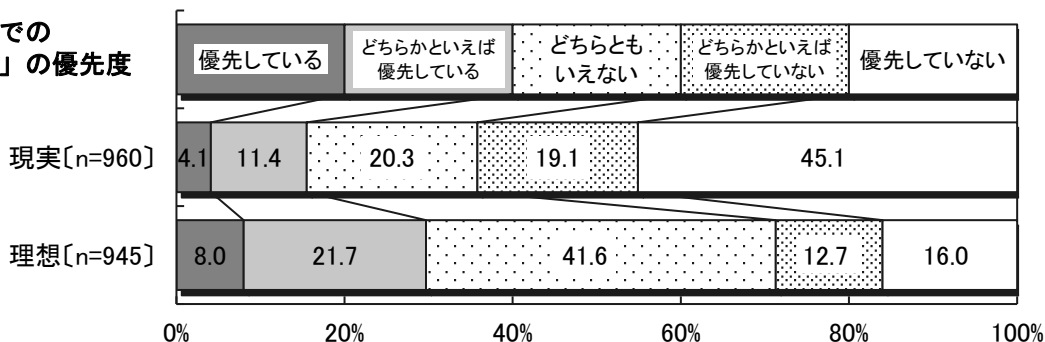
イ「家庭生活」の優先度



ウ「個人の時間」の優先度



エ「市民活動での活動時間」の優先度



(12) 男性が家事, 育児, 介護等に参加していくために必要なことについて〔複数回答〕

問12 あなたは, 今後, 男性が女性とともに, 家事, 育児, 介護, 地域活動やボランティアなどの市民活動に積極的に参加していくためには, どのようなことが必要だと思いますか。
○は3つまで

- 「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくすること」 45.1%
- 「仕事以外の時間を多く持てるような勤務制度を普及させること」 37.5%
- 「男性の家事参加に対して抵抗感をなくすこと」 33.6%

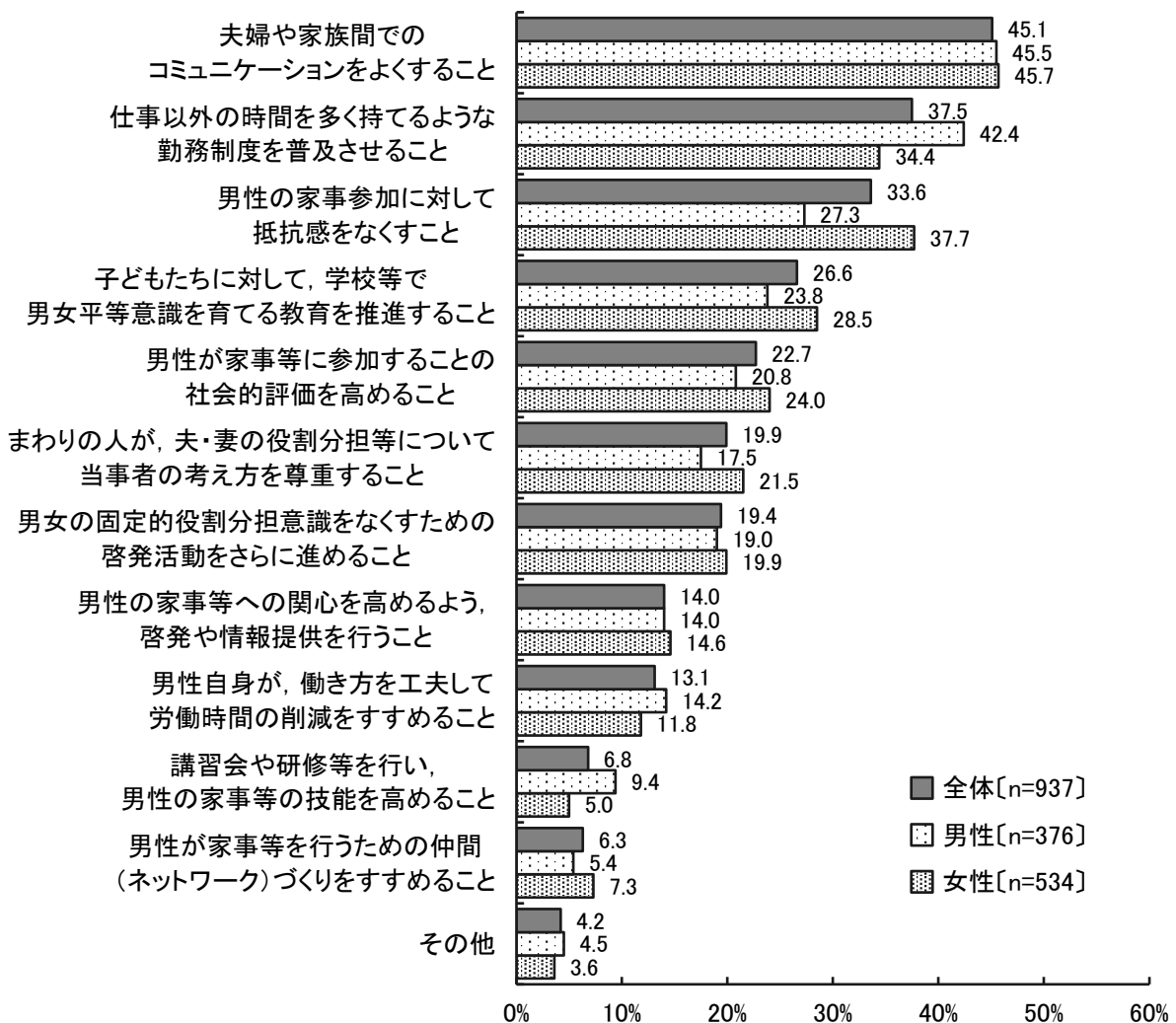
【全体】

「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくすること」が45.1%と最も高く, 「仕事以外の時間を多く持てるような勤務制度を普及させること」が37.5%, 「男性の家事参加に対して抵抗感をなくすこと」が33.6%と続く。

【性別】

男性は, 「仕事以外の時間を多く持てるような勤務制度を普及させること」が42.4%と女性の34.4%より8.0ポイント高い。女性は, 「男性の家事参加に対して抵抗感をなくすこと」が37.7%と男性の27.3%より10.4ポイント高い。

12-1図 男性が家事, 育児, 介護等に参加していくために必要なことについて〔全体・性別〕



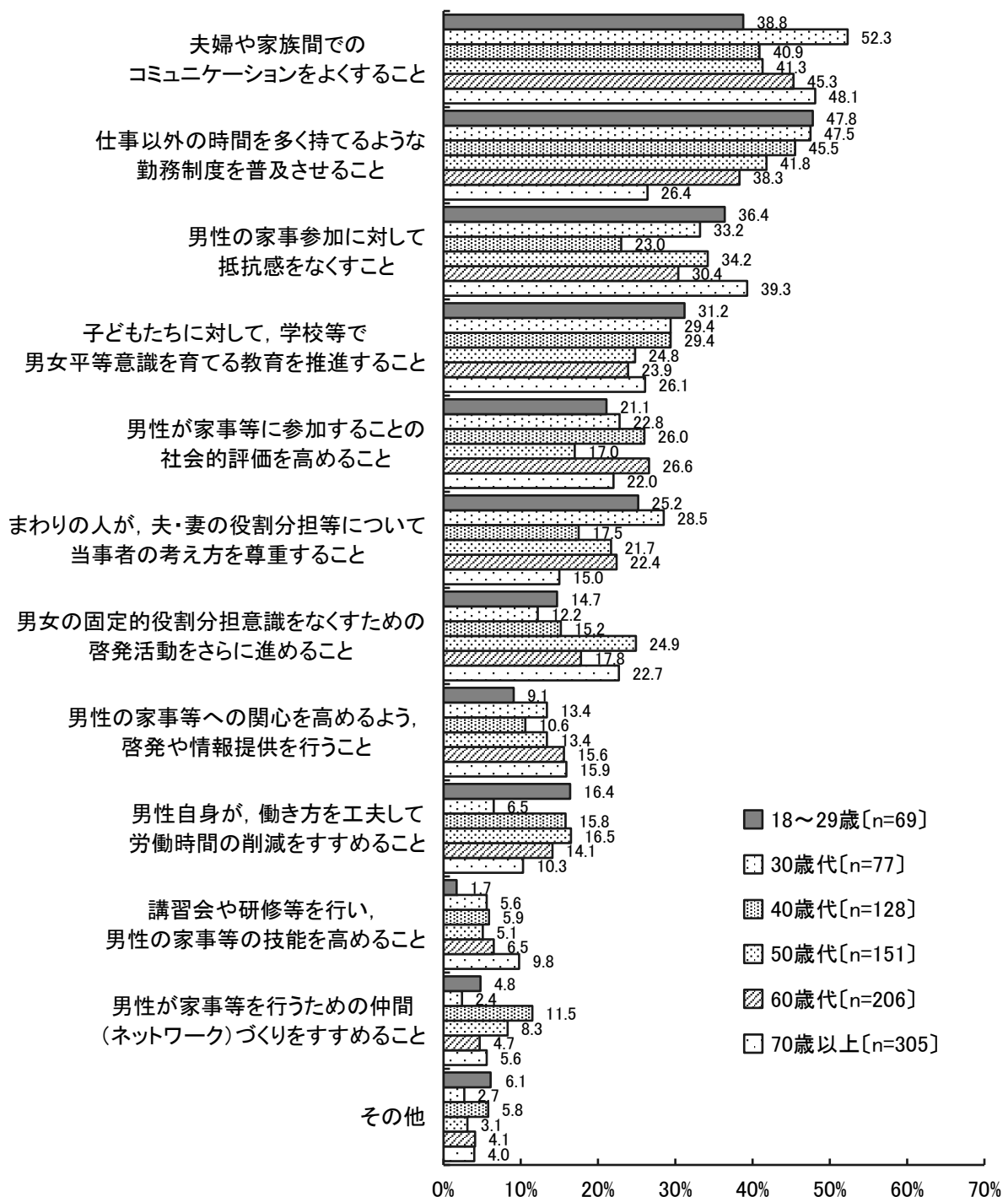
【年代別】

30歳代は、「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくすること」が52.3%と他の年代より高い。

18～29歳と30歳代は、「仕事以外の時間を多く持てるような勤務制度を普及させること」がそれぞれ47.8%、47.5%と高く、若年層ほど高い。「まわりの人が、夫・妻の役割分担等について当事者の考え方を尊重すること」についても、30歳代が28.5%、18～29歳が25.2%と他の年代より高くなっている。

70歳以上は、「男性の家事参加に対して抵抗感をなくすこと」が39.3%と他の年代より高い。

12-2図 男性が家事、育児、介護等に参加していくために必要なことについて〔年代別〕



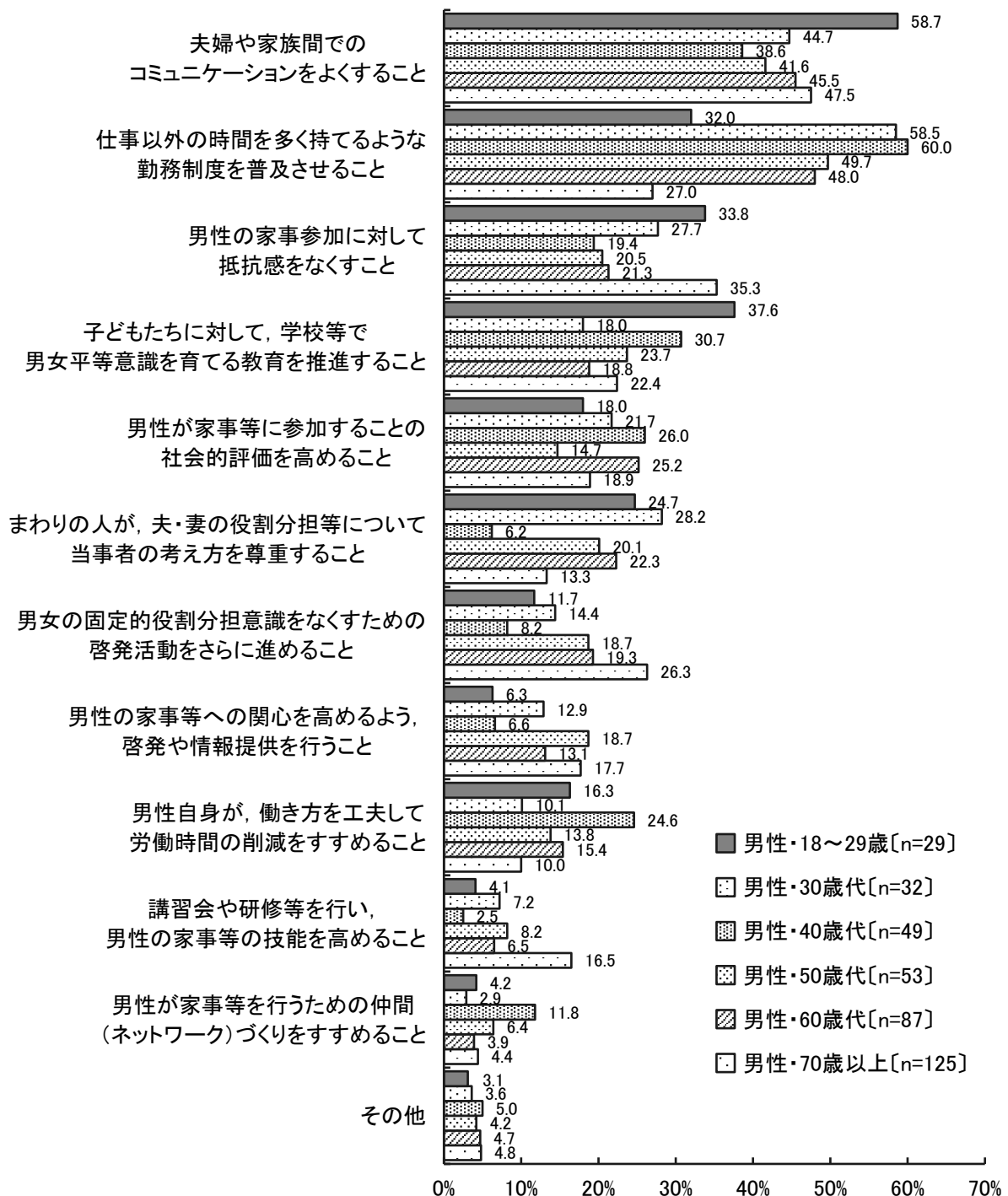
【男性年代別】

男性18～29歳は、「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくすること」が58.7%、「子どもたちに対して、学校等で男女平等意識を育てる教育を推進すること」が37.6%と他の男性の年代より高い。

男性40歳代と男性30歳代は、「仕事以外の時間を多く持てるような勤務制度を普及させること」がそれぞれ60.0%、58.5%と特に高い。

男性70歳以上は、「男女の固定的役割分担意識をなくすための啓発活動をさらに進めること」が26.3%と他の男性の年代より高い。

12-3図 男性が家事、育児、介護等に参加していくために必要なことについて〔男性年代別〕



【女性年代別】

女性18～29歳は、「仕事以外の時間を多く持てるような勤務制度を普及させること」が64.3%と他の年代より高い。

女性30歳代は、「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくすること」が58.4%、「子どもたちに対して、学校等で男女平等意識を育てる教育を推進すること」が36.8%と、それぞれ他の女性の年代より高くなっている。

女性50歳代は、「男女の固定的役割分担意識をなくすための啓発活動をさらに進めること」が29.7%と他の女性の年代より高い。

12-4図 男性が家事, 育児, 介護等に参加していくために必要なことについて〔女性年代別〕

